

各 位

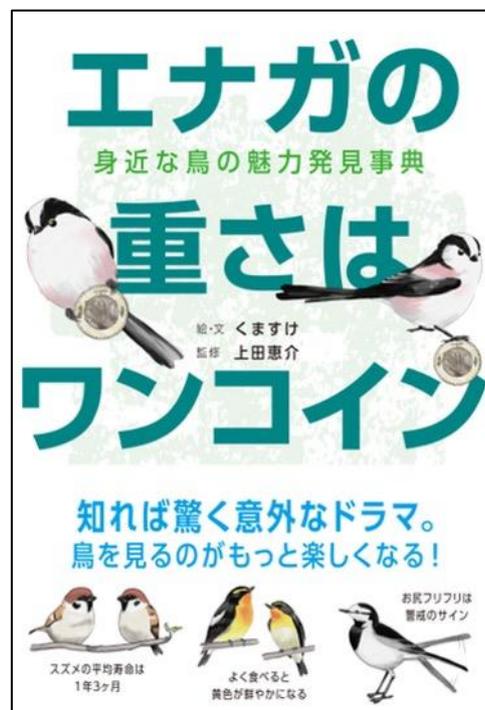
2023年11月14日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

あっと驚く鳥たちの意外なドラマが満載！『エナガの重さはワンコイン 身近な鳥の魅力発見事典』刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『エナガの重さはワンコイン 身近な鳥の魅力発見事典』（くますけ／著、上田恵介／監修）を刊行しました。



「さえずりが止まらない 毎日 2000 回」 ウグイス  
「にじみ出るジャイアンらしさ」 シメ  
「国立競技場でも席が足りない」 アトリ  
「翼を広げたら改札2つ分が通れない」 アオサギ

思わず「へえ！」と唸らされ、人に話したくなるような身近な鳥の知られざる事実や魅力をユーモラスなイラストと解説でたのしく紹介。

ふだんの散歩やバードウォッチングが、いっそう楽しくなること間違いなし！ 日頃から鳥を見ている人にも、鳥のことは詳しくないけど興味があるという方にもオススメの1冊です。

「街の鳥」「公園・緑地の鳥」「野山の鳥」「水辺の鳥」と見かけやすい環境ごとに、80種類ほどの鳥を紹介しています。

にじみ出る  
ジャイアンらしさ

シメ

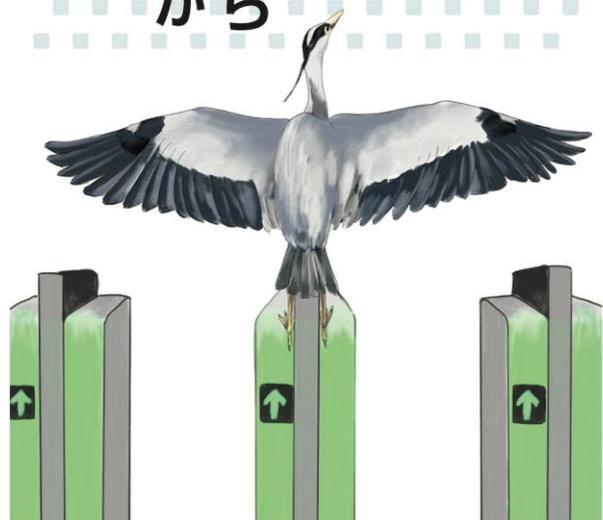


ツバメ  
この子らを  
育てるため  
毎日500匹の  
虫必要



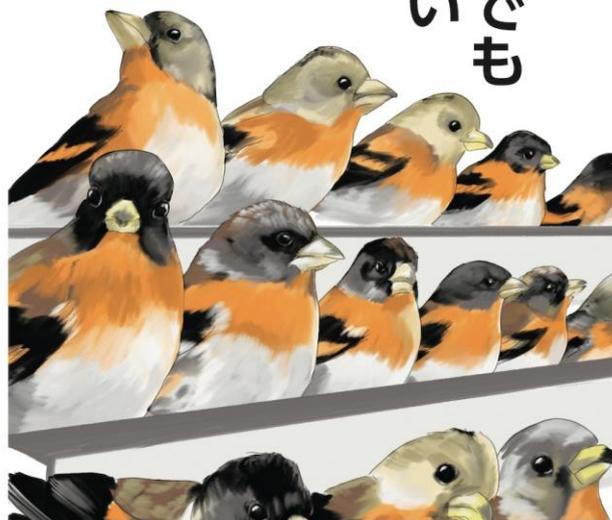
アオサギ

翼を広げたら  
改札2つ分が  
通れない



国立競技場でも  
席が足りない

アトリ



Birds Profile

|     |      |
|-----|------|
| 漢字名 | 柄長   |
| 科名  | エナガ科 |
| 大きさ | 14cm |
| 時期  | 1年中  |

公園や住宅街でも見かけます。目の上には太くて黒い眉。肩とお尻のあたりがピンク色。尾は体と同じくらいの長さがあります。ジュリリという声がかえたら木の枝先あたりを探してみましょ。冬場は特に群れているのが見つかると思います。

# エナガ

## カブトムシより軽い？

エナガは身近な鳥の中ではダントツで小さな鳥です。尾が長い分、大きめに見えますが、実際の体は本当に小さく、体重は7gほどしかありません。物に例えると500円玉と同じ重さです。なんと、育ちのいい雄カブトムシのほうが重いくらいです。



キュートな鳥の重さは500円

「かわいいのか!」とびっくりです。



「そんなところまで、かわいいのか!」とびっくりです。自分に近い遺伝子を残せるし、子育ての経験を積むことで次回に生かせるので、ヘルパーにもメリツトはあられるのです。ただ、エナガは世話焼き魂がやや過剰で、ほかの種類の鳥にまでエサを与えちゃうこともあるのだとか!

抜かりないかわいらしい小さなふもふボデー。つぶらな瞳。ピンクの羽。キュートさを凝縮した彼らは細部までぬかりありません。目に注目してください。アイシャドーをしているんです! ピンクは子どもで、大人になると黄色になります。



## 世話焼き一家

エナガの子育ては、つがいの2羽以外にも繁殖に失敗した親戚が合流し、ヘルパーとして子育てを手伝うことがあります。そうすることで

## 人の暮らし、タカの暮らし

タカの獲物になっているお肉たちの生態に注目してみると、彼らの暮らしには人間が大きく関わっていることがわかります。もし人間の田畑の使い方が変われば、そこに暮らしていたネズミやカエルの数にも影響が出てくるはず。そして、その影響はノスリ、サシバにも広がるでしょう。

タカは肉食ですが、お肉だったらなんでも食べるわけではありません。タカの種類によって好みが変わります。これらのタカは同じような環境に暮らしているのですが、食の好みをちよつと変えることで、真つ向勝負にならないようにしているのでしょうか。ちなみに、ここで紹介しているのはあくまで傾向で、オオタカがネズミを食べることもあります。

## どのお肉が好き?

Column

オオタカ  
王者が狙うのは大きめの獲物。公園にたくさんいるハトがピッタリ。



オオタカはハトだ!



ガン!

ドハト  
元は伝書鳩やレース用のハトでした。都会の公園でのんびり暮らしていると思ったら、タカに狙われている日々だったとは...

ツミ  
小型のタカで、大きさはオオタカの半分ほどです。なので狙う獲物も小さくて良いので、スズメがお気に入り。



ツミはスズメだ!



えーっ!?

スズメ  
人間の暮らしに近くにいるのが好きな鳥です。

ノスリ  
開けた農地の高いところから獲物であるネズミなどを探し捕まえます。



ノスリはネズミだ!



まじでー

ネズミ  
畑で人間の作物をちよつといただきながら生活しています。地域によっては冬でも繁殖できるのが、ほかのお肉たちとの違い。

サシバ  
この中では主に同生類、爬虫類を狙うタイプです。



サシバはカエルだ!



かんべんしてー

カエル  
田んぼのような浅い水辺で暮らしています。

## 【商品詳細】

書名：エナガの重さはワンコイン 身近な鳥の魅力発見事典

著者：くますけ

監修：上田恵介

定価：1650円(本体1500円+税10%)

発売日：2023年11月14日

仕様：四六版・本文192ページ

発売元：株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/products/2823230170.html>

## 【著者略歴】

絵・文 くますけ

子どもたちに、自然の楽しさを、やわらかく伝える専門家。自然ガイド歴15年。関東平野の真ん中で筑波山を眺めながら、すくすくと育つ。20代最後の挑戦で、体験型環境教育を実践するホールアース自然学校へ転職。柏崎・夢の森公園での勤務を経て独立。ふざけすぎない、くだけ方で、行政・企業・先生のウケがいい。おうち時間が増えたのをきっかけにイラストを描き始め、公園や庭で見られる自然の「へえ！」という発見や「そうそう！」と言いたくなるネタをSNSで発信している。影響を受けた本は『自然語で話そう』（広瀬敏通著）と『足もとの自然から始めよう』（デイヴィッド・ソベル著）。一番好きな鳥はヒヨドリ。

監修 上田恵介

鳥類学者。日本野鳥の会会長、立教大学名誉教授、山階鳥類研究所特任研究員。生態学者として著書多数。日本動物行動学会会長、日本鳥学会会長なども歴任。2016年第19回山階芳麿賞、2020年日本動物行動学会日高賞を受賞。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

## 【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：井澤健輔

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>